

2012
FEBRUARY
vol.19

協会だより

ひろは

レポート

作品展報告
大会報告

19回 みてみてコーナー

現場からこんにちは

アルルのサントロフィーム教会

老健職員の給与改善を田指して

公益社団法人 群馬県老人保健施設協会

理事長 高玉真光

お正月の回診では、「新年おめでとうございます。今年も昨年と変わらずに宜しくお願いします。」という声を老健の職員たちから何度も掛けられました。大晦日も元旦も休むことなく、利用者の在宅復帰にむけて全員がリハビリテーションに頑張つてゐる姿がありました。ことに通所リハビリのメンバーは寒い風からお年寄りを守り、車椅子でリハビリルームに案内し、入浴サービス・パワーリハビリテーションと田舎まじい活躍をしています。

昨年からは在宅復帰を田指し、入退所前訪問、そして看護介護・嚙下の改善等「R4システム」を利用しての在宅復帰を田指して頑張つてきました。今年の三月までは介護福祉士の皆様には介護職員処遇改善交付金がありますが、一四年度からはこの費用は介護報酬の中に含まれ、1.2%が増額されると報道されています。この増額は在宅を支えるための訪問看護・訪問リハビリ、入退所前訪問等の費用に当たられるのではないかと考えています。今年からの老健施設は、今まで以上に地域に密着した在宅を支える総合的なサービス施設として努力していくかなくてはなりません。

今老健施設は、在宅支援を田指したリハビリテーション施設に特化しようとしています。例えば、老健施設100床に対し一人と規定されていたP.T・O.T・S.Tの方々は、今どの施設でも三人以上は勤めてリハビリに頑張つておられます。そして、看護師・介護職員と協力をして一人でも多くの利用者を立させるために頑張つている施設になりつつあります。しかし、入所者が徐々に高齢化し、リハビリや在宅復帰もなかなか難しくなっているのが現実です。このお正月も皆様休むことなく力を併せて、利用者の在宅復帰のために力を尽くしておられたのではないでしょか。

一四年度の介護報酬改定は、どうか職員全体が安心して気持ちよく働けるような給与改善がなされるようこと望んでいます。(平成二四年一月四日)



第14回 作品展

**東北のみなさん
大変だとは思
いますが、笑顔を
忘れずにがんばって
下さい。**

今は辛いこともたくさんあります
でも、笑顔あふれる明るい未来が
待っています。

北中毛ブロック会場
◆群馬県庁 県民ホール北側
◆2011年9月7日(水)~9日(金)

東毛ブロック会場
◆イオンモール太田2階 イオンホール
◆2011年10月11日(火)~13日(木)

西毛ブロック会場
◆高崎市役所1階ロビー・中2階ホール
◆2011年10月12日(水)~14日(金)

介護講演会
こうして防ごう認知症
田中 志子先生(大誠苑)

高齢者の住環境
清宮 和之先生
(山王ライフ)

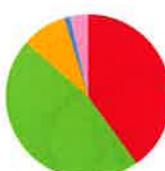
- ### ご来場者の声
- ◆知恵と工夫の宝庫です。すぐに作ってみたい作品がたくさんありました。
 - ◆作品を見るだけでなく「アザラシ」など体験できたのが良かったです。
 - ◆東北へのメッセージも良いと思いました。
 - ◆とても心を感じた。作者の想いが込められているようでとても美しい作品たちだと思った。
 - ◆入所者の家族として励みになつた。
 - ◆たまたま通りかかってイベントを知った。もうと福祉施設の情報を共有できると良い。
 - ◆とても素晴らしい作品ばかりで子供もびっくりしていました。作り方の「ピーなどがあれば更にうれしい」と思います。
 - ◆せんせんおばあちゃんに会つてないけど、なんだからおばあちゃんを思い出しました。おばあちゃんも紙でいろいろ作っていたので、今は出来ないけどあの頃のおばあちゃんに会いたい。
 - ◆初めて見させて頂きました。物を作る喜びが伝わってきます。習字も素敵でした。「逢ったいなああの人」ちょっと笑い:私もそんな気持ちがあるなと思いました。
 - ◆施設の方と利用者が一体となつていることを作品を見て感じました。物を作るということは、生強く感じました。物を作るといふことは、生きている中でとても大切で生きがいになることだと思います。今回利用者が楽しんで作っていることが想像できました。

第十四回作品展は当初5月の予定となっていましたが、何度も検討を致し3ヶ月遅れの開催となりました。今年も沢山の施設にご参加いただき、東毛ブロック(イオンモール太田)、西毛ブロック(高崎市役所)、北・中毛ブロック(群馬県庁)の三会場とも大変活気のある中に開催することができました。

昨年は《老健は地域を支えるサポートーー》、今年は感動老健をもじって「**感じる作品、動かすココ、老いても 健やか**」を作品展のキャッチフレーズと致しました。老健が老健らしくその理念を全うできる施設であり続けるよう、これからも重ねてきた歴史をエネルギーとして作品展を通して発信していきたいと思います。

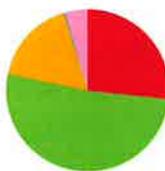
第21回 群馬県老人保健施設大会 アンケート結果

■とても良い ■良かった ■普通 ■悪かった ■未回答



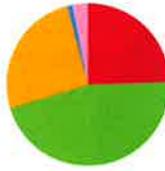
1. 特別講演について

- わかりやすく、老健の役割を学ぶことができた。
- 在宅支援の問題点が分かり易く興味深く聴かせていただいた。



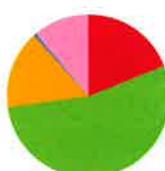
2. シンポジウムについて

- 在宅復帰支援について、自分が何をしたらよいか考えさせられた。
- 全体的に時間が足りなく、あわただしい感じがした。
- 多職種協働の事の大切さを強く感じた。



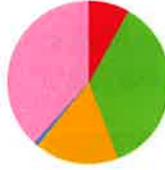
3. ランチョンセミナーについて

- とても解りやすかった。
- 食べながらの講演はメモが取れない為難しい。
- 室内の密度が高過ぎた。



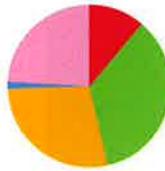
4. 口演発表について

- 他の施設の取り組みを聞くことができ勉強になりました。
- 聞きたいテーマをしぼるのはよいが、他の口演が聞けないのはもったいない。
- 6分は短い7分にすると余裕があるのでは?



5. ポスター発表について

- 見られない。見る時間が全くなかった。
- ポスターの大きさ、展示の方法が解らなかった。



6. 展示ブースについて

- 試供品を沢山いただけたので施設で参考にしたい。
- 休憩時間、移動時間が短くて説明が充分に聞けなかった。
- メーカーさんの対応がよかったです。



7. 全体の雰囲気

- 活気があった。
- 発表している施設の熱意が伝わりよかったです。
- 午前に講演、午後に分科会という方法は混雑が押さえることができ合理的でした。

8. 今大会で良かった点

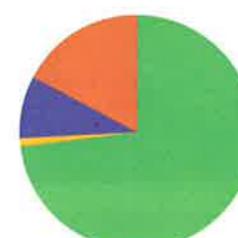
- 講演、シンポジウム、ランチョンセミナー、とても勉強になりました自分のこれからやるべき課題がみえてきました。
- 在宅復帰については、悩みも多い多くのヒントをもらえたと思います。
- テーマが良かった。
- 事前アンケートがあったので他施設の現状が解り自分の施設の悪い点が解った。

9. 今大会で悪かった点

- ポスター、展示ブースを見る時間がなかった。
- シンポジウムの時間配分。

- 発表内容がマンネリ化している。
- 平日開催のため勤務が組めず多くの職員が参加できない。

10. 今大会のテーマは、「なぜ在宅復帰が進まないのか」でしたが、参考になりましたか？



| | | |
|------------|------|-------|
| ■参考になった | 209件 | 73.3% |
| ■参考にならなかった | 3件 | 1.1% |
| ■どちらでもない | 24件 | 8.4% |
| ■未回答 | 49件 | 17.2% |



介護商品展示ブース



ポスター発表



発表



閉会式



表彰



口演発表



開会式

第21回群馬県老人保健施設大会に当たり、多数の方にご参加・ご協力いただき誠にありがとうございました。この場を借りてあらためて厚く御礼申し上げます。本大会の大会長を仰せつかり皆さんといろいろな問題を解決しながら準備を進めてまいりましたが、何とか任を全うでき今は安堵の気持ちでいっぱいです。振り返れば、当日はやや気温が低かったものの快晴で、県内各地からお集まりいただいた老健施設職員の方々の熱意と熱気により寒さも感じない盛大な大会となりました。今大会のテーマである「なぜ在宅復帰が進まないのか」は、これから日本の医療・介護の在り方を考える上で避けては通れない問題です。実際に厚労省を中心に行なった議論が進められている平成24年度介護報酬改定においても、老健の役割と在宅支援は大きな論点となっていました。ともすれば本体報酬である施設サービス費に直接影響するかもしれないということも聞こえています。老健に携わる者として私は今後もこのようないかねばならないと考えます。結びに、今後も群馬県老人保健施設協会と皆様の老人保健施設の発展を祈念して、感謝の言葉とさせていただきます。



特別講演



シンポジウム



特別講演 池田先生



開会式 高玉理事長



ランチョンセミナー



講



第21回(平成23年度)
群馬県老人保健施設大会を終えて

介護老人保健施設アルボース 理事長 美原樹

こまち

クリスマス会

こまちの皆さんにもサンタクロースが来てくれました。職員の完璧な仮装にも「あのサンタは○○さんだね」とバレバレでしたが皆さんと一緒に歌を歌ったり、サンタからプレゼントをもらったりと楽しい時間が過ごせました。また来年、来てくれるることを願っています。

餅つき

毎年こまちでは施設内に臼と杵を準備し、職員が皆さんの前でもちをつきます。「昔は毎年自分でついていた」というお年寄りが多いので不慣れな職員にはきびしい野次も飛んできますが、よいしょ！どっこいしょ！と大きな声で応援してくれます。こまちでは新年を迎えるために欠かせない行事となっています。



お正月を迎え玄関に門松をたてました。施設で正月を迎える方も多く、少しでもお正月気分を満喫してもらえるよう食事も大晦日には年越しそば、正月にはおせちを提供しました。平成23年は東日本大震災もあり、大変な年でしたが平成24年は皆様にとって良いお年でありますようお祈り申し上げます。



- 〈北・中毛地区〉高橋久美子（陽光苑）
・住所／〒371-0847 前橋市大友町3-26-8 TEL.027-253-3310
・E-mail／youkouen@ronenbyo.or.jp
- 〈東毛地区〉春山裕子（サンホープ笠懸）
・住所／〒379-2313 みどり市笠懸町鹿2646-1 TEL.0277-76-1100
・E-mail／sunhope_yoshimoto@yahoo.co.jp
- 〈西毛地区〉多胡一史（二之沢バナケア）
・住所／〒370-3531 高崎市足門町158-2 TEL.027-372-3711
・E-mail／ninosawa@toriton.ocn.ne.jp

協会事務局 TEL.027-233-0350 FAX.027-233-0599
・E-mail／gunmakenrouken@sunny.ocn.ne.jp
・URL／http://www.gunma-roken.jp/

第19回

みてみてコーナー

「みてみて!私たちの施設こんなことやってるよ!」と名前の通りの「みてみてコーナー」。利用者職員の行事だって何

とやっているよ!と名前の通りの様の作品から施設の行事、でも載せちゃいます。



ウォークラリーのご紹介

10月に開催する平成苑の名物行事で、今年で20回目を迎えます。通常のウォークラリーとは違いストーリー性があるのが特徴で、前回では「浦島太郎」を若返らせるために参加者は竜宮城に向かいました。

スタッフはカメや乙姫に扮してチェックポイントで参加者を迎えます。



「西遊記」「明治維新」「ハロウィン」「○○○の鬼太郎」など、これまで色々なストーリーで、ご家族ともども楽しんでいただけるよう頑張ってきました。

…が、スタッフにとっては毎年、着ぐるみをまとめて前橋駅前など人通りの多い場所に立つことが少し辛いのです。



太田市藪塚本町 介護老人保健施設

利用者様に四季の変化を感じていただけるように、様々な行事やレクリエーションを開催しています。

クリスマス会を開催。今年は、洋食のフルコースを提供し、利用者様は盛り付けの美しさ、味しさに感激して、会話も弾み、楽しいひとときを過されました。



原稿・作品大募集

「ひろば」は皆さんちの施設の情報をお届けします。「ひろば」は皆さんちの施設の情報を宣伝してみませんか？ご意見・ご感想・ご意見・ご感想などを大募集中です。（原則として写真は返却いたします）

毎年開催されている「かかし祭り」に、当施設の作品を出品し、特別賞を頂きました。利用者様の見学会も実施し、工夫を凝らした様々なかかしに出会い、散歩を楽しんでいました。

この他、当施設では、地域の皆さんに当施設を知つてもらえるよう、外出行事では、ボランティアとして多数の皆さんにご協力いただいております。また、職員の技術向上のため、職員が講師となって、定期的に勉強会を開催し、利用者様へのサービス向上につなげております。これからも、明るく家庭的な施設運営を中心がけ、地域や利用者様に愛される施設を目指して行きたいと思います。

当施設は、平成22年4月1日、宏愛会第二リハビリテーション病院から介護老人保健施設に移行し、名称もナーシングケア川内の杜となりました。療養型の老健として(入所100名)夜間にも看護師が勤務する体制を整えております。在宅復帰への中間施設としての対応に加え、長期の療養、ショートステイ等にも対応しております。

入所者様・ご家族様の立場は十人十色です。私たちはそれぞれの立場を理解し、ニーズを聞き取り、その人に最適な入所生活が出来るよう支援しております。

これからも、法人理念の「思いやりによる地域社会への貢献」を実行してまいります。

幸寿苑は高崎市矢中町に平成22年に開設した42床の施設です。病棟から転換した療養型ですので従来の看護施設サービスに加え、手厚い医療・看護サービスが特徴となっております。

また、同じ建物に従来型の老健(100床)も同居しているため、薬剤師は両方の施設に所属し2つの施設の入所者様(合計142名)を1名で担当しています。利用者様と接する機会はあまりありませんが、日頃から調剤過誤などが無いよう看護スタッフの協力を得ながら業務に励むとともに、副作用症例等の情報収集を行い老健医師に伝えるなど、薬剤を通じて入所の皆様のお役に立てるよう努力しています。

*写真は苑での申し送りと調剤室での様子です。

医療法人宏愛会 介護老人保健施設 ナーシングケア川内の杜

支援相談員
吉村 達也



医療法人社団慈豈会 高崎老人保健施設 幸寿苑

薬剤師

大塚 晴義



北毛保健生協は「市街地に老健」を目標に、2007年渋川市の市街地に老健を開設しました。

ユニット型の施設で、1つのユニットは10名、3つのユニットがあります。介護度平均3.0 平均年齢86.8歳 82%が女性の入所者です。

職員は介護、看護で17名、内7名が看護師です。業務内容は主に日常生活の援助で介護職と同じです。ユニホームも同じため、見た目には区別はつきませんが、医療行為はその日の看護職員が対応しています。

入所者の多くは持病があり、何らかの後遺症等がある人が多く、中には訴えの出来ない人もいます。水分量、食事量、嚥下状態、体重の増減や排泄に注意をしています。朝の申し送りに医師がいる為異常がある時は早期に医師の診察を受けて、対応が行えています。

これからも介護、看護職員で協力し、御家族、利用者が安心して頂けるように努力していきます。

北毛保健生活協同組合 介護老人保健施設 ほくもう

看護師

若田部 芳子



現場からこんにちは

こんにちは!八休苑です。

当苑は太田市新田町にあり、入所定員52名(ショート含む)・通所定員33名の施設です。「心と体の機能回復を願い、心の安寧を保ち自立への意欲を育む施設」、「入所者に家庭的な安らぎと尊厳を、家族には安心を与える施設」を施設理念として、職員一同日々心がけています。

当施設は温泉をひいており、利用者様は本格的な温泉入浴を楽しむことができます。温泉は芯から温まり、湯冷めしないと好評です。中には、髪の毛がはえてきたという方も!?(笑)

リハビリは理学療法士3名で行っています。それぞれの利用者様のニーズや状態に合わせ、筋力トレーニングや立位・歩行練習などの個別リハビリや6~8人での集団リハビリを行っています。また、在宅復帰に向けて自宅に訪問し家屋評価を行ったり、ご家族への介護指導も行っています。

今後も利用者様により良いサービスが提供できるよう、努力していきたいと思います。

富士重工業健康保険組合 介護老人保健施設 憇いの里 八休苑

理学療法士

荻野 久美



医療法人瑞穂会 介護療養型老人保健施設 みさと

事務部長 金子 通弘



当施設は高崎市箕郷町にあり、平成21年4月群馬県で最初の介護療養型老人保健施設として開設しました。入所定員は96名(一般棟56床、認知専門棟40床)となっており、安心と誠実の医療と介護の提供を目指し日々サービスをさせて頂いております。

東日本大震災時には計画停電に伴う対応を迫られ、入所者様、ご利用者様にはなるべく普段通りの生活をおくって頂けるよう職員全員苦労いたしました。そんな中、我々事務職は停電時の照明確保、送迎車のガソリン、オムツや乾電池など在庫確保、etc…と情報収集や物品購入に追われました。

老健では介護職や看護職を中心として業務が行われます。老健では介護職や看護職を中心として業務が行われます。が、事務職が縁の下の力持ちとなり、入所者様、ご利用者様、スタッフ共に幸せになれるようにサポートすることが大きな役割と考え、努力していきたいと思います。

社会福祉法人恩賜財団済生会支部 老人保健施設 あずま荘

介護福祉士 中山 可奈恵



ご家族のための介護保険情報 ~その5~

【社会保障って?】

今回は介護保険以前の問題として、その前提となる社会保障について記してみます。

遅々として進まなかつた「社会保障と税の一体改革」の議論がようやく始まりました。どのような方向になつていいのか大いに気になりますが、放置されていたのでは手遅れの程度が進むばかりですから議論をすることに意味があると言えるでしょう。

さて、私たちはテレビや新聞などを通して社会保障といふ言葉をよく耳にしますが、そもそも社会保障とは何のことなのでしょうか? 簡単に言葉の意味を整理をすることでイメージ化したうえで大きな枠組みを見渡してみたいと思います。

【関係する言葉の意味】

社会保障について考るためには、まず、言葉の意味を知つておくことが大事になります。義務教育の国語で習つたはずですが、私も辞書で調べないと分からぬことが多い、本当に日本語は(も)難しいものです。

『保障』とは「人権や自由、安全を保証すること」で、『保証』とは「確かさを請け負うこと」です。つまり、社会保障とは、「社会(国家)が、国民の人権や自由、安全を確実に請け負うこと」なのです。

当然、保障と賠償は異質のものです。「賠償」とは「他人や他国にあたえた損害を償うこと。他人の権利を侵した者が、その損害に対し補償すること」であり、「補償」とは「損害をつぐなうこと。損害の代償」です。

こんがらがつてしまいそうですが、保障と保証、賠償と補償の意味を私たちひとり一人がしっかりと理解しておくことで大切な人権が守られることがあります。

【わが国の社会保障】

では、わが国の社会保障はどのような分野のことを指すのでしょうか? かつて国の社会保障制度審議会が示したもののは、社会保険・公的扶助・社会福祉・公衆衛生及び医療、老人保健の5部門となっています。これを狭義の社会保障と呼び、恩給・戦争犠牲者援護を加えたものを広義の社会保障といいます。

先ほどの言葉の意味を踏まえて考えてみると、恩給や戦争犠牲者援護は国が戦争に突入した歴史的事実から「賠償」の性格を拭えないために狭義の5部門の中には入れられなかつたと思量できます。

社会保障はこのように広範囲に渡り、社会保険だけでも医療・年金・雇用・労災・介護の5つがあり、医療と介護は来年度から使い勝手が変わりますし年金は大搖れです。

突然、思い出したのですが、皆さんもご記憶のとおり平成16年に発覚した年金問題は本当にひどいものでした。不祥事のオンパレードで厚生労働省の外局だった社会保険庁は完全に信用を喪失して取り潰しとなり、平成22年から特殊法人の日本年金機構となつたわけです。社会保障の一部を掌る国の機関が、「賠償」の責任を負わなければならぬような不祥事を延々と続けていたとは呆れ果てました。

【関心を持つて見守つて…】

社会保障は、本当に家族も含めて私たちが産まれてから夭寿を全うするまでの全てのことに関わるもののです。財源なきことはできませんが、税も保険料も支払っている私たちは、「社会保障と税の一体改革」の議論を強い関心をもつて注目し、モノを申していくことが大切なことでしょう。

介護老人保健施設若宮苑 副施設長
安藤 繁

あとがき

T

H

T

今年の冬は寒すぎです。空気の乾燥する日々が続いているので、体調管理はしつかりしましよう。

今シーズンの冬は寒いですが、東毛は雪が少なくて一安心です。
本日、ひさびさの雨。寒さも少しゆるみましたが、まだまだ油断大敵です。

協会・事務局コーナー

■年度末協会行事予定

2月

- | | |
|--------|-------------------|
| 5日(日) | 「生活リハビリと多職種連携」研修会 |
| 14日(火) | 代表委員会 |
| 17日(金) | 面接・マネジメント技法研修会 |
| 22日(水) | 臨時理事会 |

3月

- | | |
|--------|-----------------|
| 14日(水) | 臨時理事会 |
| 14日(水) | 臨時総会 |
| 21日(水) | 書面による全老健群馬県支部総会 |

■お知らせ

第7号からスタートしました「現場から〜んにちは」「〜ナーは、施設が巡回しましたので今回を以て終了いたします。永らくご支援いただきありがとうございました。執筆協力していただいた皆様に感謝いたします。
次号からは、また新たな企画が登場いたします。お楽しみに!